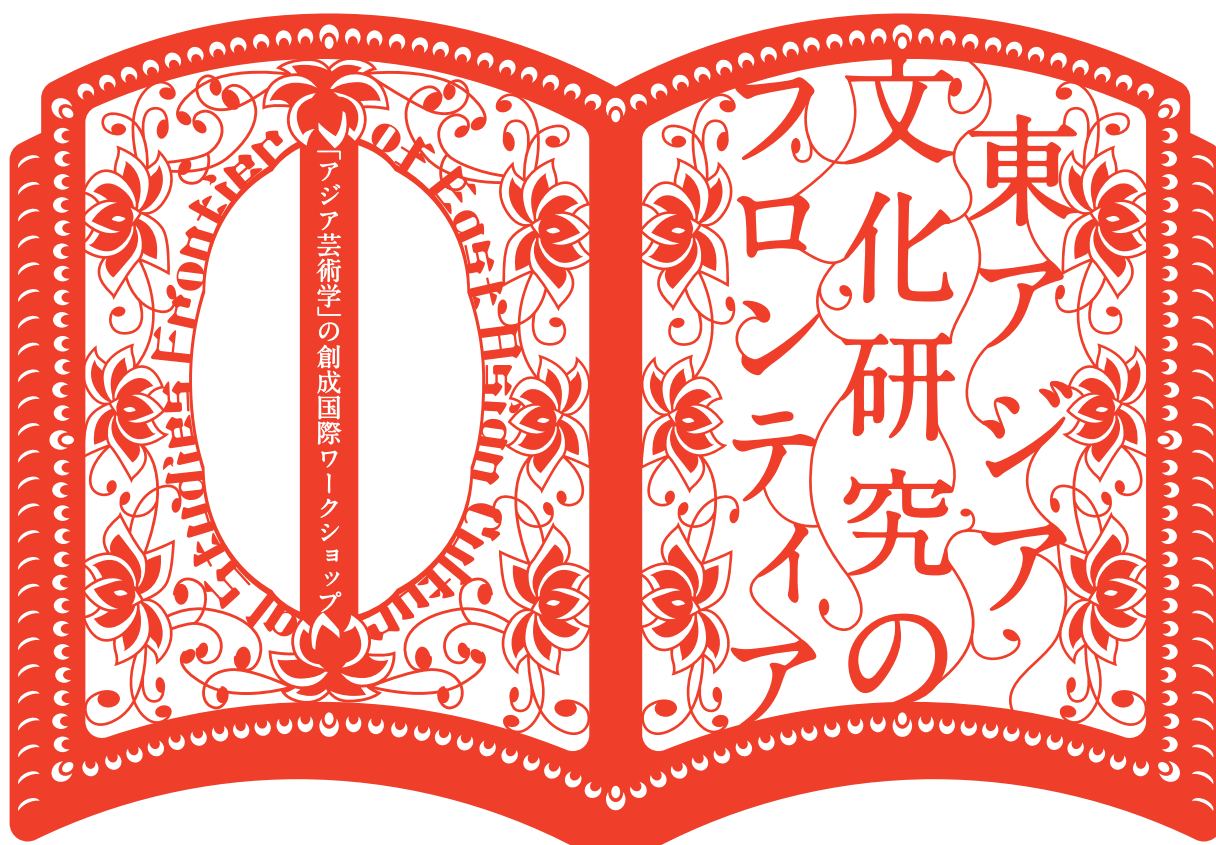


日時 | 2019. **2.20** [水] 13:00-17:30 ※12:30 開場

会場 | 立命館大学 衣笠キャンパス アート・リサーチセンター 多目的ルーム

デジタルコンテンツの共有と
ユーザビリティ

Session1



Session2

情報人文学とデータ

文化資源リソースの

Session3

アーカイブ

言語 | 日本語 (中国語による発表には日本語同時通訳あり)

予約不要・来聴歓迎

立命館大学アート・リサーチセンター（ARC）で2014年度に発足した「アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト」はこれまでに複数の国際ワークショップを開催してきました。該当プロジェクトの一部を継承し、更に研究分野が拡充され、より広い視野からアジアを捉え直そうとする「『アジア芸術学』の創成」が2018年度に新たにスタートしました。

その一環として、今回は中国北京大学および深圳市委員党校から三名の専門家と本学および京都府立京都学・歴史館の該当分野の専門家をお招きし、国際ワークショップを開催します。「『アジア芸術学』の創成」のプロジェクトメンバーからも研究成果を報告すると共に、デジタルヒューマニティズにおける最新の研究手法や、継続可能なデジタルアーカイブの構築について研究交流の機会となればと考えております。皆様のご参加をお待ち申し上げております。



Program

* 中国語による発表、日本語同時通訳あり

12:30-13:00 開場・受付

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:15 「『アジア芸術学』の創成」趣旨説明

Session1 デジタルコンテンツの共有とユーザビリティ

13:15-13:45 張広欽（北京大学信息管理係副教授）「中国における図書館と文化館のデジタル化現状および問題」*

13:45-14:15 岡本隆明（京都府立京都学・歴史館資料課）「資料所蔵者はどこまでサービスできるか？」

14:15-14:30 休憩

Session2 情報人文学とデータ

14:30-15:00 梁興堃（北京大学信息管理係助教）「公共文化サービスにおけるビッグデータの収集およびその戦略」*

15:00-15:30 前田亮（立命館大学情報理工学部教授）「日本文化資源デジタルアーカイブへの多言語情報アクセス技術」

15:30-15:45 休憩

Session3 文化資源リソースのアーカイブ

15:45-16:15 曹雨佳（中国共産党深圳市委員党校図書情報センター館員）
「広東省東莞市図書館および深圳市委党校の特色のあるデジタルアーカイブ」*

16:15-16:45 李増先（立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員）「海外における和漢書古典籍のデジタル化」

16:45-17:00 休憩

17:00-17:25 質疑応答

17:25-17:30 閉会挨拶

立命館大学衣笠キャンパス アート・リサーチセンター

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL: 075-466-3411 (9:00~17:30)

<http://www.arc.ritsumeimei.ac.jp>

[問い合わせ] 立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター 立命館大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（日本文化資源のグローバルアクション）事務局／〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1／TEL: 075-465-8476 (9:00~17:30)／e-mail: arc-jimu@arc.ritsumeimei.ac.jp

